

配偶者等からの暴力とリニア中央新幹線全線開業前後の移動手段などに関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
子育て支援課	2019年07月10日から 2019年07月31日まで	1073	761	70%

今回は、子育て支援課、交通政策課からのアンケートです。

平成13年4月に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（通称「DV防止法」）が制定され、18年が経過しました。三重県では、平成17年度に「DV防止及び被害者保護・支援基本計画」を策定し、DVの起こらない社会、DV被害者を守り、適切な支援が受けられる社会の実現に向け、さまざまな取組を進めているところであり、今年度はこの基本計画の改定を予定しています。

今後の取組の参考とするために、DVに関するアンケートを実施しますのでご協力をお願いします。（設問は、Q1～Q10の10問です。なお、このアンケートでは、内縁・元配偶者・恋人を含む配偶者等からの暴力を「DV」と表記します。）

また、リニア中央新幹線は、2027年に品川・名古屋間が、最短で2037年に名古屋・新大阪間が開業予定となっています。三重県では、リニア中央新幹線全線開業に伴う三重の魅力発見・発信事業（啓発パンフレット作成）に役立てるため、皆さんに大阪への移動手段や行く回数などについてアンケートを実施しますので、ご協力よろしくお願いします。（設問は、Q11～Q16の6問です。）

■ 添付ファイル

- [Q14 linear-route](#)

■ Q1 DV防止法について

はじめに、子育て支援課からお聞きします。

あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」（通称DV防止法）を知っていますか。

合計	761	
内容を概ね知っている	104	13.7%
内容を少し知っている	203	26.7%
内容までは知らないが聞いたことがある	358	47.0%
知らない	96	12.6%

■ Q2 DVについて

あなたは、次のことが配偶者等の間で行われた場合、それをDVだと思いますか。DVだと思うものをすべて選んでください。

合計	761	
殴る。蹴る。ものを投げつける	752	98.8%
殴るふりをして脅す	655	86.1%
大声で怒鳴る	630	82.8%
「きたない」「バカ」「クズ」など嫌な言い方で呼ぶ	631	82.9%

腹をたてると目のまゝで物を壊したり、たたいたりして恐怖を感じさせる	688	98.4%
子どもに配偶者等の悪口を吹き込む	483	63.5%
何を言っても無視をして口を聞かない	488	64.1%
電話やメールを細かく監視する	511	67.1%
「誰のおかげで生活できるんだ」「甲斐性なし」などと言う	622	81.7%
嫌がっているのに性的な行為を強要したり、避妊に協力しない	691	90.8%
見たくないのに、アダルトビデオ（雑誌）等を見せる	592	77.8%
借金するよう強要する	606	79.6%

■ Q3 面前DVについて

子どもの前などで親が配偶者に暴力を振るうことを「面前DV」といい、子どもの脳を委縮させたり、心的外傷（トラウマ）として残ることから、子どもに対する心理的虐待と位置づけられています。あなたは、面前DVが児童虐待に該当することを知っていますか。

合計	761	
「面前DV」という言葉は知っているし、児童虐待に該当することも知っている	88	11.6%
「面前DV」という言葉は知らなかったが、児童虐待に該当することは知っている	369	48.5%
「面前DV」という言葉は知っているが、児童虐待に該当することは知らなかった	42	5.5%
「面前DV」という言葉は知らなかったし、児童虐待に該当することも知らなかった	262	34.4%

■ Q4 DVを受けたことについて

あなた、またはあなたの家族や友人・知人が、これまでに配偶者等からQ2のような行為を受けたことがありますか。

「ない」「わからない」を選んだ方は、Q8にお進みください。

合計	761	
1, 2度あった	80	10.5%
何度もあった	103	13.5%
ない	472	62.0%
わからない	106	13.9%

■ Q5 受けたDVについて

Q4で、「1, 2度あった」「何度もあった」とお答えいただいた方にお聞きします。それは、次のどれにあてはまりますか。当てはまるものをすべて選んでください。

- ※身体的暴力・・・殴ったり、蹴ったり、物を投げつけるなどの身体に対する暴行。
- ※精神的暴力・・・人格を否定するような言葉の暴力や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせ。自分や自分の家族に危害を加えるのではないかと恐怖を感じるような脅迫行為。
- ※性的暴力・・・嫌がっているのに性的な行為を強要する。アダルトビデオを見ることを強要する。
- ※経済的暴力・・・生活費を渡さないなど経済的に相手を束縛する行為。
- ※社会的暴力・・・実家や友人とのつきあいを制限する、行動を監視するなどの行為。

合計	183	
身体的暴力	110	60.1%
精神的暴力	129	70.5%
性的暴力	21	11.5%
経済的暴力	45	24.6%
社会的暴力	39	21.3%

■ Q6 相談について

Q4で、「一度あった」「何度もあった」とお答えいただいた方にお聞きます。あなたはそのことを、どこか（誰か）に相談しましたか。相談した場合は、相談先としてあてはまるものをすべて選んでください。

「相談していない」を選んだ方はQ7へ、「相談していない」以外を選んだ方は、Q8にお進みください。

合計	183	
親・兄弟などの親族	39	21.3%
友人	31	16.9%
配偶者暴力相談支援センター（女性相談所）	2	1.1%
男女共同参画センター（フレンテみえ）	1	0.5%
市町役場（福祉事務所）	6	3.3%
警察	11	6.0%
みえ性暴力被害者支援センター（よりこ）	1	0.5%
その他	9	4.9%
相談していない	118	64.5%

■ Q7 相談しなかった理由について

Q6で、「相談していない」とお答えいただいた方にお聞きます。あなたが、相談しなかった理由について、あてはまるものをすべて選んでください。

合計	118	
どこに（誰に）相談してよいのかわからなかったから	23	19.5%
どこにも（誰にも）言えなかったから	24	20.3%
相談しても解決しないと思ったから	29	24.6%
相談したことがわかると、仕返しや、もっとひどい暴力を受けると思ったから	11	9.3%

加害者に「誰にも言うな」などと脅されたから	2	1.7%
相談相手の言動によって、不快な思いをさせられると思ったから	7	5.9%
自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	24	20.3%
世間体が悪いと思ったから	14	11.9%
他人を巻き込みたくなかったから	10	8.5%
他人に知られると、これまで通りのつき合いが（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	4	3.4%
そのことについて、思い出したくなかったから	8	6.8%
自分にも悪いところがあると思ったから	26	22.0%
加害者の行為は愛情の表現だと思ったから	4	3.4%
DVだと思っていなかったから。相談するほどのことではないと思ったから	23	19.5%
自分のことではなかったから	20	16.9%
わからない	4	3.4%
その他	16	13.6%

■ Q8 相談窓口の認知度について

あなたは、DVについて、県内に相談できる窓口（場所）があることを知っていますか。知っている相談窓口をすべて選んでください。

合計	761	
配偶者暴力相談支援センター（女性相談所）	121	15.9%
男女共同参画センター（フレンテ）	155	20.4%
市町役場（福祉事務所）	286	37.6%
警察	532	69.9%
みえ性暴力被害者支援センター（よりこ）	79	10.4%
その他	5	0.7%
どれも知らない	145	19.1%

■ Q9 DV防止・被害者支援対策について

あなたは、DVを防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。必要だと思うものをすべて選んでください。

※デートDV・・・交際中の若いカップルの間で起こる暴力を指します。

合計	761	
-----------	------------	--

家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	397	52.2%
学校で児童・生徒に対し、デートDV防止（暴力を防止するための）教育を行う	461	60.6%
地域で暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	187	24.6%
メディアを活用して、広報・啓発活動を行う	457	60.1%
被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	517	67.9%
男性の被害者も相談しやすいよう、男性専用の相談窓口を設置する	287	37.7%
相談できる窓口を増やす	392	51.5%
被害者を発見しやすい立場にある医療関係者に対し、研修や啓発を行う	288	37.8%
加害者に対する再発防止のための教育を行う	336	44.2%
加害者に対する罰則を強化する	445	58.5%
その他	31	4.1%

■ Q10 性別について

男女の性別によるアンケート結果の分析のため、あなたの性別（自認する性）をお答えください。
なお、選択肢がない場合は回答不要です。

合計	757	
男性	382	50.5%
女性	375	49.5%

■ Q11 大阪とのつながりについて

ここからは、交通政策課からお聞きます。
あなたと、大阪との関わりについて、あてはまるものをすべて選んでください。

合計	761	
大阪やその近くに居住していたことがある	167	21.9%
友人・知人が居住している（居住していた）	300	39.4%
家族・親戚が居住している（居住していた）	280	36.8%
仕事で訪れる機会が多い	57	7.5%
魅力的な商業施設が多く、訪れる機会が多い	155	20.4%
魅力的な娯楽施設やイベントが多く、訪れる機会が多い	183	24.0%
歴史・伝統が多く、訪れる機会が多い	28	3.7%

まちの雰囲気良く、訪れる機会が多い	45	5.9%
地域の自然環境が良く、訪れる機会が多い	3	0.4%
テレビや雑誌、インターネット等のメディアで見る機会が多い	318	41.8%
SNSやブログなどソーシャルメディアで見る機会が多い	59	7.8%
全く関わりがない	94	12.4%
その他	30	3.9%

■ Q12 現在の大阪への移動手段について

あなたが、大阪に行く際に利用する主な移動手段について、あてはまるものを1つ選んでください。「大阪へは行ったことがない」を選んだ方は、回答後はQ14にお進みください。

合計	761	
鉄道（近鉄利用）	396	52.0%
鉄道（JR関西本線利用）	12	1.6%
鉄道（JR紀勢本線利用）	2	0.3%
新幹線（高速バスで名古屋駅まで行き、新幹線を利用）	5	0.7%
新幹線（鉄道で名古屋駅まで行き、新幹線を利用）	21	2.8%
新幹線（自家用車を自分で運転して名古屋駅まで行き、新幹線を利用）	1	0.1%
新幹線（自家用車で送ってもらって名古屋駅まで行き、新幹線を利用）	0	0.0%
高速バス	17	2.2%
自家用車	280	36.8%
自動二輪車	2	0.3%
大阪へは行ったことがない	16	2.1%
その他	9	1.2%

■ Q13 現在の大阪への移動手段を選択する理由について

Q12で「大阪へは行ったことがない」以外を選んだ方にお聞きします。あなたが、移動手段を選択する理由として、あてはまるものをすべて選んでください。

合計	745	
所要時間が短くて済むから	369	49.5%
費用が安く済むから	326	43.8%
時間までに確実に到着できるから	269	36.1%

身体的・精神的負担が少ないから	230	30.9%
荷物がたくさんあるから	131	17.6%
寄り道ができるから	145	19.5%
他の移動手段がないから	56	7.5%
その他	35	4.7%

■ Q14 品川・大阪間全線開業後の大阪への移動手段について

リニア中央新幹線の県内のルート位置については、リニア中央新幹線ルート概念図で20キロメートル幅で示されており、本県内にも中間駅として三重県駅の建設が検討されています。

(ルート概念図については、添付ファイル欄の「Q14 linear-route」をご覧ください。)

全線開通後、本県から大阪へリニアを利用して訪問する際は、名古屋駅からの乗車と中間駅(三重県駅想定)から乗車の2つの乗車方法が想定されます。

名古屋・新大阪間の所要時間を約30分、運賃を約7,000円、運行本数を8本/時間(※1)と想定し、中間駅(三重県駅想定)・新大阪間の所要時間を約20分、運賃を約4,000円、運行本数を2本/時間(※2)と想定した場合、全線開業後の大阪に行く際に利用する主な移動手段について、あてはまるものを1つ選んでください。

(※1 中央新幹線(東京・名古屋間)環境影響評価書(平成26年8月)より引用)

(※2 新幹線のぞみとこだまの運行本数割合から算出)

「現在の移動手段と変わらない」「大阪へは行くつもりはない」を選んだ方は、質問はこれで終了です。

合計	761	
現在の移動手段と変わらない	448	58.9%
名古屋駅まで公共交通機関で行き、そこからリニアを利用	46	6.0%
名古屋駅まで自分で自家用車を運転し、そこからリニアを利用	0	0.0%
名古屋駅まで自家用車で送ってもらい、そこからリニアを利用	2	0.3%
中間駅(三重県駅想定)まで公共交通機関で行き、そこからリニアを利用	118	15.5%
中間駅(三重県駅想定)まで自分で自家用車を運転し、そこからリニアを利用	110	14.5%
中間駅(三重県駅想定)まで自家用車で送ってもらい、そこからリニアを利用	16	2.1%
大阪へは行くつもりはない	21	2.8%

■ Q15 品川・大阪間全線開業後の大阪への移動手段を選択する理由について

Q14で「現在の移動手段と変わらない」「大阪へは行くつもりはない」以外を選んだ方にお聞きします。あなたが、リニアを利用する理由として、あてはまるものをすべて選んでください。)

合計	292	
所要時間が短くて済むから	257	88.0%
費用が安く済むから	38	13.0%
時間までに確実に到着できるから	89	30.5%

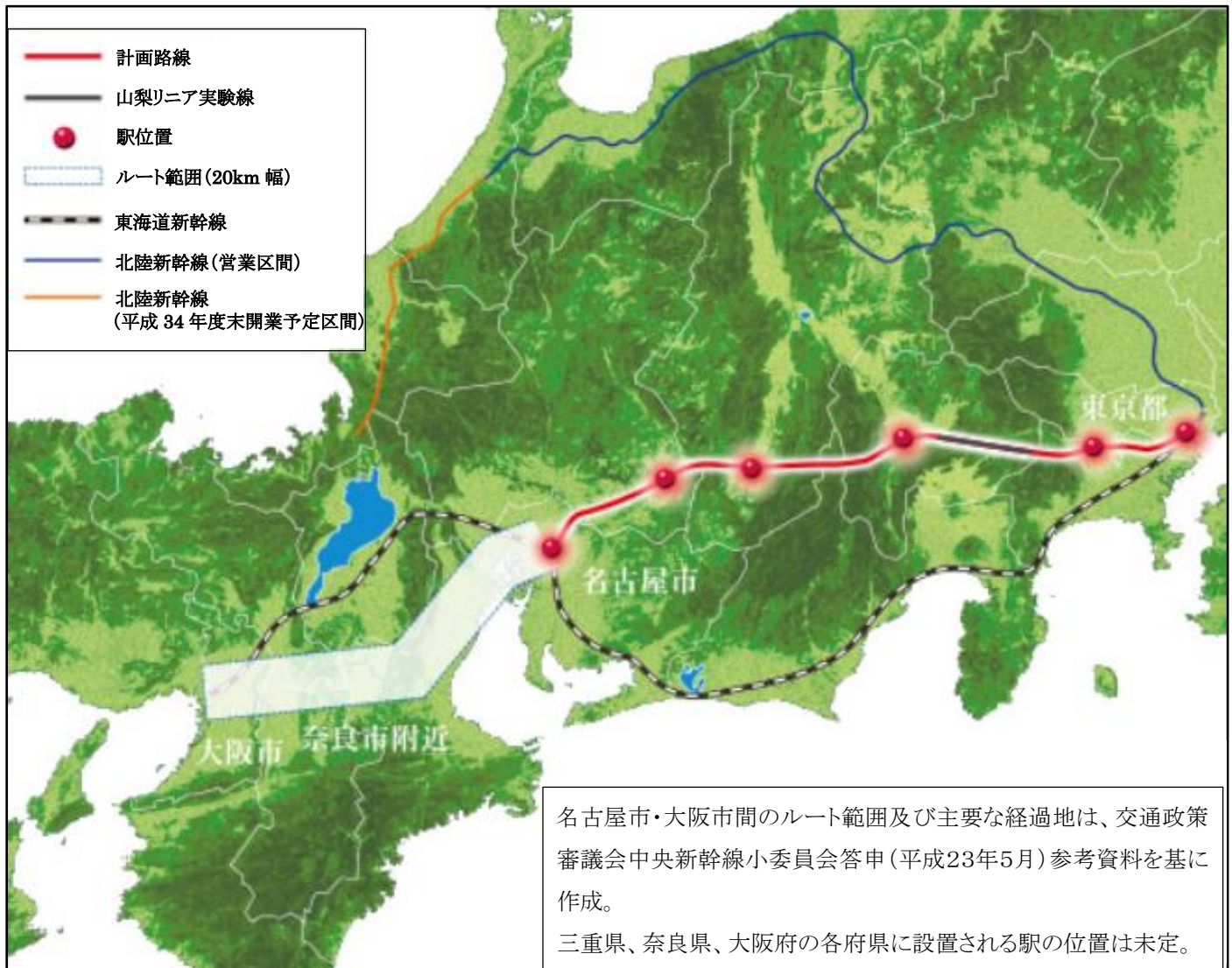
身体的・精神的負担が少ないから	67	22.9%
荷物がたくさんあるから	10	3.4%
寄り道ができるから	7	2.4%
他の移動手段がないから	3	1.0%
その他	16	5.5%

■ Q16 大阪間全線開業後に大阪に行く回数について

Q14で「現在の移動手段と変わらない」「大阪へは行くつもりはない」以外を選んだ方にお聞きします。あなたは、リニア中央新幹線が開通したら、リニアを利用して大阪に行く回数が増えると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	292	
現在は頻繁に（月に数回）訪れているが、さらに行く回数は増えると思う	4	1.4%
現在は頻繁に（月に数回）訪れているが、行く回数は変わらないと思う	14	4.8%
現在はたまに（年数回、数年に一度）訪れているが、行く回数は増えると思う	146	50.0%
現在はたまに（年数回、数年に一度）訪れているが、行く回数は変わらないと思う。	117	40.1%
一度も行ったことはないが、訪問する（訪問してみたい）と思う	11	3.8%

リニア中央新幹線ルート概念図



県内のルート位置については、上記、ルート概念図の様に 20km 幅で示されており、名古屋駅・奈良県駅の間三重県駅の建設が検討されています。(詳細なルート・駅位置は未定)